

数学的な見方・考え方を働かせ、自分のペースで学習することができる児童の育成

㊦ 天子田小 田中 滉太郎 稲西小 久野 真穂 瑞穂小 宮原 健誓
愛知小 野間 礼雄 桃山小 西澤 佳奈 黒石小 佐藤 誠泰 引山小 梅村 佳乃子

1 研究のねらい

本研究では、数学的な見方・考え方を働かせ、自分のペースで学習することができる児童の育成を目指している。私たちは、数学的な見方・考え方を働かせて学習を進めることで、学習内容の理解を深めることができると考える。また、自由進度学習を取り入れ、能力や進度に合わせて個人で学習したり、仲間と学習したりすることを選択することで、自分のペースで学習することができるようにする。小学生のうちに数学的な見方・考え方を働かせる経験を積むことで、その先の算数活動の基礎ができていくと考える。学習指導要領にも、『「数学的な見方・考え方」を働かせながら、知識及び技能を習得したり、習得した知識及び技能を活用して探求したりすることにより、生きて働く知識となり、技能の習熟・熟達にもつながる』と記されている。また、ナゴヤ学びのコンパスにおいても、「自分のペースや方法で学ぶ」ことが重要視されている。しかし、普段の授業の様子を見てみると、自分の答えの正誤だけにとらわれて、一喜一憂する児童の姿や、正答しているもののどのようにして考えたのかが曖昧な児童の姿、経験の少なさから、学習する内容や方法を適切に選択し、自分のペースで学習することができない児童の姿が見られる。このような実態から、数学的な見方・考え方を働かせ、自分のペースで学習することができる児童を育成したいと考える。

そこで、本研究では、数学的な見方・考え方を学級の児童が意識しながら、自分のペースで学習を進めることができるような工夫をしていく。

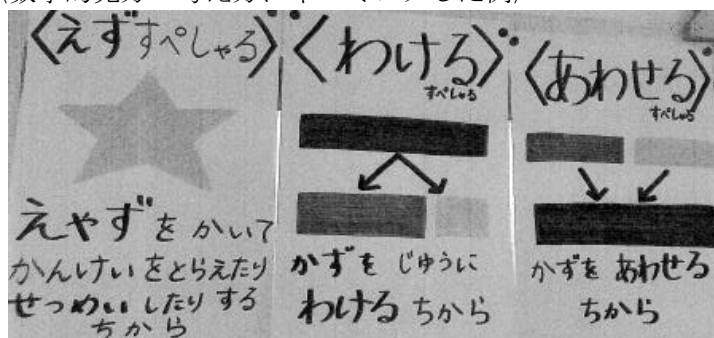
2 研究の手立て

【手立て1】数学的な見方・考え方を働かせることができるための工夫

問題解決の際に使った見方・考え方にネーミングをし、絵などを用いてカードを作成し、掲示をしておく。本時の問題を解決する際に使えそうなカードを選ばせることで、問題解決の見通しをもつことができる。

また、本時の問題を解決した後、どのカードを使って解決したか振り返らせることで、算数の問題は今までの見方・考え方を使えば解決することができる気付くことができる。

〈数学的見方・考え方にネーミングした例〉



【手立て2】自分のペースで学習することができるための工夫

自由進度学習の時間のはじめにチェック問題（3問程度）を解かせ、自分の学習の状況を把握させる。学習状況に合わせて、子どもたちが親しみやすいネーミングをしたコースを選択させることで、自分のペースで学習を進めることができるようにする。

〈ネーミングしたコースの例〉

